

平成31年2月 斐伊川水系水質情報

平成31年2月(宍道湖:11日・中海:10日採水)								単位:mg/l(Chl-a: μg/l)		
項目	層	S-3(宍道湖湖心)			N-6(中海湖心)			米子湾中央部		
COD	全層	5.2	△	平年並み	3.4	△	平年並み	3.9	△	平年並み
全窒素	上層	0.51	△	平年並み	0.39	○	良好(平年並み)	0.48	△	平年並み
全リン	上層	0.030	○	良好(平年並み)	0.031	○	良好(平年並み)	0.031	△	平年並み
Chl-a	上層	36	△	平年並み	15	△	平年並み	15	△	平年並み
塩化物イオン	上層	3,100	×	やや高い	9,450	△	平年並み	8,300	△	平年並み
	下層	3,180	△	平年並み	16,500	△	平年並み	9,650	△	平年並み
溶存酸素	上層	12.3		平年並み	11.4		平年並み	12.3		平年並み
	下層	12.2		平年並み	6.3		平年並み	11.6		やや高い

前月との比較		宍道湖湖心		中海湖心		米子湾中央部	
項目	層	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して
COD	全層	5.3	横ばい	3.2	横ばい	4.1	横ばい
全窒素	上層	0.65	やや下降	0.35	横ばい	0.59	やや下降
全リン	上層	0.034	横ばい	0.028	横ばい	0.050	やや下降

宍道湖の透明度は1.4mから1.2mにやや下降。中海の透明度は1.9mから1.7mと横ばい。
米子湾の透明度は先月同様1.6mとなっている。

【評価基準】

前年まで過去10年間(平成19年までは5年間とした)のデータについて統計処理を行い、それに基づき下記の表現とする。

1. 水質値について

平均値＋標準偏差値の3倍…… ★ 〈非常に高い〉

平均値＋標準偏差値の2倍…… ☆ 〈かなり高い〉

平均値＋標準偏差値 …… × 〈やや高い〉

平均値－標準偏差値 …… △ 〈平年並み〉

ただし、環境基準値以下の場合は〈良好〉とする。

平均値－標準偏差値の2倍…… ○ 〈良好〉

ただし、環境基準値を下回らない場合は△で〈やや低い〉とする。
〈やや低い〉(塩化物イオン)

平均値－標準偏差値の3倍…… ◎ 〈かなり良好〉

〈かなり低い〉(塩化物イオン)

2. 水質変化について

前月値±標準偏差値の変化…… 上昇、下降

前月値±標準偏差値の1/2の変化… やや上昇、やや下降、横ばい

注) 平均値±標準偏差値 …… 全体のおよそ 68.2%

平均値±標準偏差値の2倍… 全体のおよそ 95.5%

平均値±標準偏差値の3倍… 全体のおよそ 99.7%